

ごがん すいだ

護岸の吸出し防止対策による鉄道の安全確保

災害時の効果発揮事例

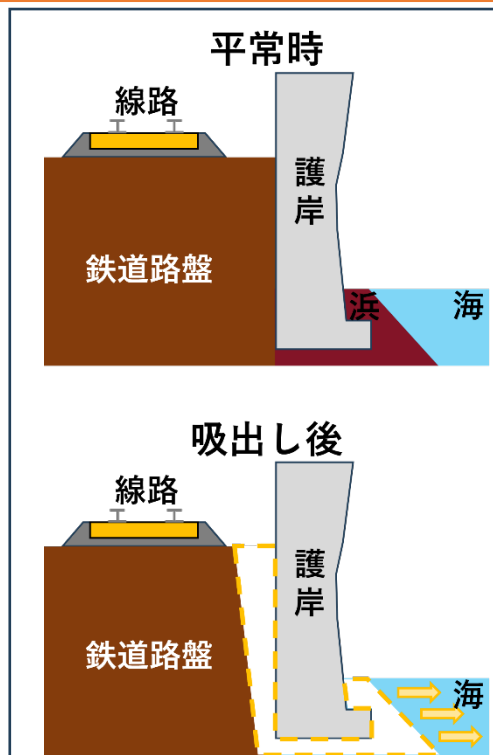
概要 要：JR函館線小樽築港・朝里間の護岸において、波浪に起因する鉄道路盤の吸出し防止対策を実施。冬季の波浪の影響により、隣接箇所では護岸底部近傍の浸食が確認されたが、対策箇所では被害なし。これにより路盤流出等の施設被害の防止にも効果を発揮しており、鉄道の安全確保に繋がった。

府省庁名：国土交通省

- 実施主体：北海道旅客鉄道株式会社
- 実施場所：北海道小樽市
- 事業概要：海に面したJR北海道の線路において、波浪による護岸底部からの鉄道路盤の吸出しを防止するため、30mに渡り根固め工を実施。
- 事業費：約0.2億円（令和4年度）

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
鉄道防災事業	根固め工	約0.2億円	R4

- 災害の外力、被害と効果：
JR函館線 小樽築港・朝里間では、令和6年12月から令和7年3月までの冬季に波浪の影響によって、対策工事を実施していない一部護岸の底部に浸食が確認されたが、対策工事を実施した箇所では同様の被害は発生しなかった。これにより路盤流出等の施設被害の防止にも効果を発揮しており、鉄道の安全確保に繋がった。
また、鉄道の後背地にある民家や道路への被害防止にも寄与した。



護岸の吸出しイメージ図

